

平成 28 年度 学校教育目標・経営方針

京都市立稻荷小学校
校長 大野 利和

平成 28 年度「学校教育の重点」

＜目指す子ども像＞
伝統と文化を受け継ぎ、
次代と自らの未来を切り拓く子ども

- ①京都を知り、京都の魅力を発信できる子ども
- ②社会的・職業的自立を果たす子ども
- ③人権文化の担い手となる子ども

— 子どもの主体性と社会性の育成を目指して —
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める

本校の目指す教育

I 学校教育目標

いきいき なかよく りそうに向かって 考動する子

II めざす子ども像

い	「いきいき」	○心も体も元気な子
な	「なかよく」	○命ときまりを守りきる子
り	「りそうに向かって」	○目標をもって自ら学び続ける子
	「いなり」	○学校・地域を愛する子
◎「考動する」…「考えて行動する」		

III 学校教育の基本指針 ~豊かな心・確かな学力・健やかな体の調和のとれた育成~

1 「豊かな心」【徳】

子どもが、「美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性」、「正義感や公正さを重んじる心」、「生命を大切にし、人権を尊重する心」、「他者を思いやる心や社会貢献の精神」、「自立心、自己抑制力、責任感、他者との共生や異なるものへの寛容等の感性」、「道徳的価値を大切にする心」等を身に付ける。

2 「確かな学力」【知】

子どもが基礎的・基本的な知識・技能はもとより、「習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」、さらには、「学ぼうとする意欲（学ぶ喜び・目的意識・課題意識・将来展望等）」、「生涯にわたって学び続ける力（学び方を身に付ける・問題解決能力・自己教育力等）」等を身に付ける。

3 「健やかな体」【体】

子どもが、遊びや運動、・スポーツ及び望ましい生活習慣の実践を通して、「自らの健康や安全を管理し、生活を改善する力」、「心身の健康を維持し、たくましく生きるための体力」、「意欲や気力といった精神面の充実を伴って、毎日を明るく生き生きと生活できる力」等を身に付ける。

4 「地域ぐるみの学校」【地域】

開かれた学校づくりと地域ぐるみの教育の核となる。

IV 学校教育目標の具現化

